

授業科目名	開講 年次	開講 学期	講義 種類	単位数	担当教員名
特別支援教育・保育	1	通年	演習	2	牧野 美枝
<p>○授業の到達目標及びテーマ</p> <p>テーマ：発達障がいなど特別の支援を必要とする子どもの発達や教育を保障する為の知識、理論、支援方法を理解する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 特別の支援を必要とする乳幼児への教育・保育・福祉制度などの支援体制や支援の方法について理解できる。</li> <li>2. 特別の支援を必要とする乳幼児の発達や学習の課程を理解するとともに、学習・生活上の困難について基礎的知識を身につけている。</li> <li>3. 教育・保育課程上の位置づけを理解し、個別の指導計画や支援計画の作成ができる</li> </ol>					
<p>○授業の概要</p> <p>特別の支援を必要とする子どもへの保育・教育について、障がいの特徴と個別の配慮について理解する。また特別の支援を必要とする子どもへの教育・保育活動の展開上の留意点・配慮点、子ども同士のかかわり、環境設定（人的、物的）上の工夫について演習を通して体験的に理解する。保護者や家族に対する支援、他専門職機関、教育機関との連携、他分野における支援（医療・福祉・教育・法律）について事例検討を通して学生の理解を深める。</p>					
<p>○授業計画</p> <p>第1回：教育・保育における「特別なニーズ」について</p> <p>第2回：障がい児教育・保育の基本（障がいとは何か：ICF（国際生活機能分類）などからの理解）</p> <p>第3回：特別な支援を必要とする子どもを支援するための価値観</p> <p>第4回：障がい児教育・保育の歴史</p> <p>第5回：特別の支援を必要とする幼児の教育・保育、福祉制度</p> <p>第6回：障がい児及び特別な配慮の必要な子どもへの基礎的理解</p> <p>第7回：障がいの種類と基礎的知識（調べ学習）</p> <p>第8回：障がいの種類と基礎的知識（グループ討議）</p> <p>第9回：障がいの種類と基礎的知識（発表資料の作成）</p> <p>第10回：知的障害、自閉症候群（学生発表、講師解説）</p> <p>第11回：ダウン症候群、学習障がい（学生発表、講師解説）</p> <p>第12回：肢体不自由、てんかん、ADHD（学生発表、講師解説）</p> <p>第13回：言語障害、視覚障害、聴覚障害（学生発表、講師解説）</p> <p>第14回：特別な配慮の必要な子どもの基礎的理解（母国語、貧困、被虐待児に対する支援など）</p> <p>第15回：中間試験及び前期講義の振り返り</p> <p>第16回：障がい児教育・保育における支援の理念及びその視点</p> <p>第17回：発達支援方法の基礎的理解</p> <p>第18回：特別な配慮を必要とする子どもの支援体制と支援方法</p> <p>第19回：特別な配慮を必要とする子どもの保護者、家庭への支援</p>					

第20回：発達支援の実際、教育・保育事例（他児を叩いてしまう）  
第21回：発達支援の実際、教育・保育事例（かんしゃくを起こしてしまう）  
第22回：発達支援の実際、教育・保育事例（順番が守れない）  
第23回：発達支援の実際、教育・保育事例（行事への参加が困難な子ども）  
第24回：発達支援の実際、教育・保育事例（落ち着いて活動に臨めない子ども）  
第25回：発達支援の実際、教育・保育事例（こだわりのつよい子ども）  
第26回：発達支援の実際、教育・保育事例（食事の好き嫌が多い子ども）  
第27回：発達支援の実際、教育・保育事例（外国籍の子どもに対する支援）  
第28回：特別な配慮を必要とする子どもへの教育課程及び保育の計画  
第29回：特別な配慮を必要とする子どもへの教育課程及び保育の計画の実際  
第30回：特別な配慮を必要とする子どもの就学（小学校などとの接続）  
定期試験

○テキスト

障害児ワークブックーインクルーシブ保育・教育をめざして 萌文書林

○参考書・参考資料等

教員が作成した資料を適宜配布する

実践事例に基づく障害児保育（七木田敦 保育出版社）

発達障害のある子への支援（内山登紀夫 ミネルヴァ書房）

「幼稚園教育要領解説」（最新版）文部科学省、フレーベル館

「保育所保育指針解説」（最新版）厚生労働省、フレーベル館

「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」（最新版）内閣府・文部科学省・厚生労働省、フレーベル館

○学生に対する評価

定期試験（80%）、学生発表及び作成資料、レポート（20%）